

小児の予防接種

予防接種によって対象疾患、対象者及び接種期間等が定められた予防接種です。法律改正が年度途中で行われ、それに伴い予防接種の方法が変わることがあります。

R3年3月末現在

① 定期予防接種

種類	2か月 3か月 5か月 6か月 12か月 18か月 2歳 3歳 4歳 5歳 6歳 7歳 8歳 9歳 10歳 11歳 12歳 13歳 14歳 15歳 16歳 17歳 18歳																		受け方		備考	
																			間 隔	回 数		
ロタ	ロタリックス 経口生ワクチン	※																		【初回】標準：生後2ヶ月から出生14週6日後までに受ける 【2回目以降】27日以上の間隔をおく	2回	ワクチンは2種類ありますが、同じ種類のワクチンで接種しましょう。
	ロタテック 経口生ワクチン	※																			3回	
ヒブ 不活化ワクチン	生後2か月～7か月未満																		【初回】27日(医師が必要と認める場合は20日)以上の間隔をおく。1歳になる前までに受ける(標準：27日(医師が必要と認める場合は20日)以上、56日までの間隔をおく) 【追加】初回3回または2回接種終了後7か月以上の間隔をおく(標準：初回3回または2回接種終了後7か月以上、13か月までの間隔をおく) ※1歳になる前までに初回接種を完了せずに1歳以降に追加接種を行う場合は、初回接種の最後の接種から27日(医師が必要と認める場合は20日)以上の間隔をおく	初回：3回 追加：1回	接種開始時月齢が2～7か月未満	
	生後2か月～5歳未満																			初回：2回 追加：1回	接種開始時月齢が7～12か月未満	
	ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンは、接種を開始する時点の月年齢によって、接種回数が異なります。標準的な接種期間は、生後2か月～7か月未満の開始になります。生後2か月になったら早めに受けましょう。																			1回	接種開始時年齢が1歳以上5歳未満	
肺炎球菌 (小児) 不活化ワクチン	生後2か月～7か月未満																		【初回】27日以上の間隔をおく(2歳になる前まで、標準的には1歳になる前までに受ける)ただし、2回目の接種が1歳を超えた場合は、3回目の接種は受けることができない。(追加接種は可能) 【追加】1歳以上であること。(標準：1歳から1歳3か月の間)初回接種の最後の接種から60日以上の間隔をおく	初回：3回 追加：1回	接種開始時月齢が2～7か月未満	
	生後2か月～5歳未満																			初回：2回 追加：1回	接種開始時月齢が7～12か月未満	
																				2回	接種開始時年齢が1歳以上2歳未満	
																				1回	接種開始時年齢が2歳以上5歳未満	
B型肝炎 不活化ワクチン	生後2か月～9か月未満 1歳未満																		【1回目から2回目】27日以上の間隔をおく 【3回目】1回目の接種終了後139日以上の間隔をおく	3回	※母子感染予防として出生後にB型肝炎ワクチンの接種を全部又は一部受けている場合は定期接種の対象者になりません。	
四種混合 百日咳 ジフテリア 破傷風 不活化ポリオ 不活化ワクチン	初回：生後3か月～1歳 1期：生後3か月～7歳6か月未満																		【1期初回】20日以上の間隔をおく(標準：20日以上、56日までの間隔をおく) 【1期追加】1期初回3回接種後6か月以上の間隔をおく(標準：1期初回3回接種後、1年～1年6か月の間)	初回：3回 追加：1回	生後3か月になったら早めに受けましょう。1期追加接種は、標準的な接種期間に受けましょう。	
三種混合とポリオについては、桜保健センターへお問い合わせください。																						
BCG 注射生ワクチン	生後5～8か月未満 1歳未満																			1回		
麻しん 風しん 注射生ワクチン	1期 2期 4～6月の早い時期の接種がおすすめです。																		初回接種後3か月以上の間隔をおく(標準：1回目は1歳から1歳3か月の間、2回目は接種後6か月以上1年の間隔をおく)	1期：1回 2期：1回	1期の接種は、1歳のお誕生日を迎えたらすぐに受けましょう。 2期の接種期間は、令和3年4月1日～令和4年3月31日までです。2期分は、個人通知します。	
麻しん風しん及び水痘予防接種のお知らせは、生後11か月になる月の半ばにします。1歳のお誕生日を迎えたらすぐに受けましょう!!																						
水痘 注射生ワクチン	1回目 2回目 1歳以上3歳未満																			2回	水痘にかかったことのあるお子さんは対象になりません。	
日本脳炎 不活化ワクチン	1期：生後6か月～7歳6か月未満 3歳 4歳 9歳																		平成19年4月2日以降生まれの方 【1期初回】6日以上の間隔をおく(標準：6日以上、28日までの間隔をおく) 【1期追加】初回2回接種終了後6か月以上の間隔をおく(標準：初回2回接種終了後6か月以上、おおむね1年の間隔をおく)	平成19年4月1日以降生まれの方 1期初回：2回 1期追加：1回 2期：1回	2期の接種は、9歳以上13歳未満のお子さんになります。 特例措置対象の方の接種期間は、20歳未満です。	
	平成19年4月2日～平成21年10月1日生まれの方で、1期の規定の回数を終了していない方は、お問い合わせください。 特例措置：平成19年4月1日以前生まれの方で、かつ20歳未満の方 今までの回数や接種間隔により異なる																					
二種混合 ジフテリア 破傷風 不活化ワクチン	11歳 11歳以上13歳未満																			1回	11歳になった翌月に個人通知します。	
子宮頸がん 不活化ワクチン	中1 平成17年4月2日～平成22年4月1日生まれの女子(小学6年生～高校1年生相当の年齢)																		【サーバリックス】標準：1回目接種後1か月後に2回目、1回目の接種から6か月後に3回目。ただし、当該方法をとることができない場合は、1回目接種後1か月以上の間隔をおいて2回目を接種、3回目の接種は、1回目の接種から5か月以上、かつ2回目の接種から2か月半以上の間隔をおく。 【ガーダシル】標準：1回目接種後2か月後に2回目、1回目の接種から6か月後に3回目。ただし、当該方法をとることができない場合は、1回目接種後1か月以上の間隔をおいて2回目を接種、3回目の接種は、2回目の接種から3か月以上の間隔をおく。	3回	ワクチンは2種類あります。必ず同じ種類のワクチンで3回接種してください。	
																				3回		

② 任意予防接種

予防接種法に基づかない予防接種です。保護者がかかりつけ医と相談し受けるかどうか決める予防接種です。任意予防接種には、おたふくかぜ、インフルエンザ等があります。市の助成がある場合もあります。詳しくは市ホームページに掲載されています。

小児インフルエンザ 不活化ワクチン	1歳以上13歳未満のお子さん 2～4週の間隔をおく																		2回	助成期間：10月1日から翌年1月31日 1回につき1,000円助成	
	1歳以上小学3年生																		1回		
おたふくかぜ 注射生ワクチン	1歳以上小学校就学前のお子さん(幼稚園、保育所等の最年長のクラスのお子さん)																		1歳から小学校就学前(年長児)で1回も接種したことのないお子さん おたふくかぜにかかったことのあるお子さんは対象となりません	1回	協力医療機関のみで接種した場合に限り、助成対象となります。 3,000円助成

対象年齢

標準的な接種期間(病気にかかりやすい時期を考慮して、定期接種ではこの期間での接種が勧められています。)